

説

運輸通信事業の 不始末

商賣工業は運輸通信と相待て發達するものにして貨物は運送し通信は運送する其間に活潑なる取引の行はる可き善なり通信は恰も神經にして鐵道は血管の如し二者は故障あれば鋼の繁榮は到底望む可らず然るに通信省管内の事業を見れば一として満足す可きものなし郵便は集配人を待つて運送するの多き通信は設備不十分にして需用に應ずるに足らず平生無事の日には大阪より東京に送するに八九時間費すと少なからざるのみか往々間接を生じて用を爲さざるも云々

如何に始末す可きかと云ふに前に述ぶる如く運輸通信の機關は一として全きものなし苦情の聲は湧くが如くにして疾呼救済を求むるの切なるは恰も火車に消防を呼ぶの情に異ならず空しく一年を待つ可きに非ず且つ國民が其費用の支出に同意したるも畢竟するに速に改良擴張の實効を奏せしめんが爲めに外ならざれば断然責任を負ふて事後承諾と決心し出來得る限り盡力して豫定の目的を達するの外に策ある可らず文明の世界は其だ忙なり急要切迫の事業を阻れなく一年も猶豫するは逆も堪ふる所に非ず用ふ可き金銭を抱きながら空しく歲月を費さんよりは寧ろ手段は變則にもせよ最初の計畫を實行する方却て國民の本意にも副ふ可し此外に進む可き道なしとして最後に一言す可きは内地臺灣間電信の一條なり此事に付ては過日一寸記したれ共今日に至りて漸く技術の養成に着手し如何にも奇怪なる話にして是れは自ら深き仔細あるとやらんと思ひしに尙ほ能く聞所に據れば單に技術の準備な

あるに至り終には組織製造の弊に陥りたれども手挽糸は漸く坐繰に移り又久年間に朱劍、稀無雙等種々の名稱を附するものもなれり爾來藩制を設けて取締りなしたれども是も改良の緒に就かざるのみならず明治の初年輸出額益々増加すると共に愈々品質を墜し信州絲の名聲は殆ど地に落ち其過半以上州商人の手に入り前橋提の名稱を附せざれば輸出する能はざるまで沈淪せり是に於てか長野縣廳は取締規則を設けて其取締を矯正したれば漸次其品位を回復して前橋絲の上に出入に至り其後一蹶一蹙の間に器械絲起りて漸く歩を進むると同時に提絲は漸く衰退し今日に至りては横濱市場殆ど其姿を見ざるに至れり

○縣業視察 (第十報)

六月十日諏訪湖畔に於て 特派員 永松 述 吾

○上野 四川省の嶺山脈一にして其の打箭爐は金銀地上に類は少からず此度同省者にせんと計畫既に械を注文せる由又新油の用をなす此利を興さん若手せりと云ふ又なるものあり全省鑛務學堂を設けて其の計畫ありと云ふ太湖の盜賊と兵士とより水賊出沒してへる巡邏又は兵士とありしが去る五月之が征討を命ずるは然れりして其の進退甚だづるは駭ふべからなし堂々として官ものあり現に目下として其の解散せしむるに在りては往々警備の詳に於て防禦に勉め數百を過すが如しとて都兵官等は頻りに務めんとすを恐るるより輸送を下し人々を警め以て解散兵士厦門の居留地屋敷聞く所なるが支那